

## アナフィラキシー患者さんの臨床情報の 研究利用に関するお知らせ

この度、奈良県立医科大学では、「アナフィラキシー治療症例の多施設集積調査」という調査を行うことになりました。

アナフィラキシーは「アレルゲン等の侵入により、全身性に複数の臓器においてアレルギー症状が惹起され、生命に危機を与え得るアレルギー反応」で、時には死に至る重篤な疾患です。しかし、日本でのアナフィラキシー患者の全国的な疫学調査は行われておらず、その原因や臨床像について詳細な情報が得られていません。そこで日本アレルギー学会の主導で全国のアナフィラキシー治療症例について調査を行うことになりました。

この調査では、当院で診療させて頂いた全てのアナフィラキシー患者さんを対象に、アナフィラキシー発症時の状況や原因、治療などに関する診療情報の調査を行います。個人情報）が外部に漏れることは一切ありません。

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障を来さない範囲で、この研究計画書の内容を見ることができます。下記研究責任者にご連絡ください。

ご自身の情報について本調査に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

2016年6月2日

奈良県立医科大学

研究責任者 皮膚科 西川美都子

連絡先 0744-22-3051 (代表) 内線 2336、2337